

令和3年度
徳島県ふるさと・水と土保全対策懇話会

日時: 令和4年3月23日(水)
午後1時30分から
場所: ホテル千秋閣 7階
「鶴の間」

1 開 会

2 あいさつ

3 議事内容

- 1) ふるさと水と土保全対策事業及びふるさと水と土保全推進事業の概要について
- 2) 令和3年度の事業経過について
- 3) 令和4年度の事業計画について
- 4) 意見交換
- 5) その他

4 閉 会

農林水産基盤整備局 農山漁村振興課

徳島県ふるさと・水と土保全対策懇話会について

開催目的

中山間地域、棚田地域における農地保全や農業・農村の活性化を目的に実施している「ふるさと・水と土保全事業」について、評価や助言をいただき、事業のさらなる拡充、推進を図る。

徳島県ふるさと・水と土保全対策懇話会

評価

意見

評価

意見

中山間ふるさと・水と土保全対策事業 (ふる水基金)

【事業目的】

- 中山間地域における土地改良施設及びこれと一体的に保全する事が必要な農地の有する多面的機能を維持
- 住民活動による土地改良施設等の保全・利活用により中山間地域を活性化

【事業対象地域】

- 過疎地域持続的発展特別措置法、山村振興法、離島振興法、半島振興法、特定農山村地域における農林業等の活性化のための基盤整備の促進に関する法律において、指定及び規定された地域
※対象市町村：県内16市町村
鳴門市、阿南市、吉野川市、阿波市、美馬市、三好市、佐那河内村、神山町、勝浦町、上勝町、那賀町、美波町、牟岐町、海陽町、つるぎ町、東みよし町

【事業内容】

●調査研究事業

地域住民活動を通じた、土地改良施設や農地の機能の強化・保全に関する基本的対策等の作成及びこれに要する調査

●研修事業

住民活動のリーダーとなる「ふるさと水と土指導員」の育成に寄与する研修の実施・派遣

●推進事業

事業を進めるのに必要な啓発普及活動、広報資料の作成、配布、各種イベントの開催

中山間ふるさと・水と土保全推進事業 (棚田基金)

【事業目的】

- 棚田などの多面的機能の良好な保全と都市住民も交えた継続的な地域住民活動の推進
- 保全活動を行う集落組織等の育成・支援

【事業対象地域】

自然傾斜を緩和した農地が階段状に分布しており、勾配1/20以上の農地の面積が当該地域の全農地の面積の1/2以上を占める地域

※県内棚田箇所数：75カ所

【事業内容】

●保全ネットワーク推進事業

都市住民等の保全活動への参加促進を図るための事業

●保全活動推進事業

住民組織が行う保全活動の推進を図るために実施する事

●保全活動支援事業

集落協定に基づいて実施される棚田などの保全活動や利活用に対して経費等の助成を行う。

効果

<ふる水基金>

- 地域リーダーを中心とした「個性ある地域づくり」に取り組む体制の整備
- 農業生産等の協働活動を通じて、中山間地域の多面的機能を維持
- 新たなコミュニティ活動の展開による地域の活性化

<棚田基金>

- 地域住民活動の活性化により、都市住民等を巻き込んだ活動参加ネットワークの構築
- 地域住民活動を推進する人材育成による活動の活性化
- 施設や農地の保全・利活用活動等への継続した支援実施による多面的機能の発揮

1 ふるさと水と土保全対策事業及びふるさと水と土保全
推進事業の概要について

中山間ふるさと・水と土保全対策事業（ふる水基金）について

1) 対策の目的

中山間地域の多くの集落では過疎化や高齢化が進み、後継者不足や耕作放棄地の増加、地域コミュニティの低下など様々な課題に直面しており、農業生産と併せて国土保全や自然・文化の伝承など、農山村が持つ多面的機能は低下の一途をたどっています。

ふるさと・水と土保全対策では中山間地域を中心として、農地や土地改良施設等の利活用や地域コミュニティ活動の活性化を図るため、地域における活性化を推進する人材の育成、施設や農地の利活用及び保全整備等の促進を目的として、平成5年度に創設されました。

2) 対策の概要

本対策は、「中山間ふるさと・水と土保全対策事業（徳島県基金）」と市町村単独事業（市町村基金）によって、地域住民による組織づくりや保全活動等を推進しています。

3) 徳島県での基金の状況

中山間ふるさと水と土保全対策事業

672,000千円 国費1/3 県費2/3

平成5年度から平成9年度にかけて造成

中山間ふるさと・水と土保全推進事業（棚田基金）について

1) 対策の目的

棚田が耕作放棄され多面的機能が発揮されなくなることによって、鳥獣害や土砂災害、洪水など周辺地域や下流地域に悪影響を与えることが懸念されています。

このため、棚田地域などを対象として、平成10年度から農地などの保全や利活用を行う地域住民活動に対し「中山間ふるさと・水と土保全推進事業」によって支援を実施しています。

2) 対策の概要

本対策では、都市住民との交流や景観形成にも役立てながら保全活動を推進するとともに、保全活動に必要な組織づくり、人材育成等も支援しています。

3) 徳島県での基金の状況

○棚田基金 中山間ふるさと水と土保全推進事業

630,000千円 国費1/3 県費2/3

平成10年度から平成12年度にかけて造成

2 令和3年度の事業経過について

令和3年度事業経過

1 中山間ふるさと・水と土保全対策事業

事業区分	事業名	事業内容	予算額
(1)調査研究 事業費			(円) 3,000,000
	ア 中山間むらづくり調査事業	中山間地域の土地改良施設や農地を整備・保全するために必要な基礎調査を行う。	3,000,000
(2)研修事業			770,000
	ア ふるさと水と土指導員 全国研修派遣	ふるさと水と土基金全国研修会に指導員候補者を派遣し、指導員を育成する。	335,000
	イ ふるさと水と土指導員県内研修	県内研修会を開催し、新たな地域づくりの手法や指導員間の情報交換を実施し指導員を育成する。	435,000
(3)推進事業			12,415,000
	ア ふるさと水と土保全対策懇話会	保全対策の内容を評価し、その意義を広く県民に対し周知する。	137,000
	イ 農林漁業体験推進事業	中山間地域の価値を地域住民自ら再認識し、地域資源として活用することで、都市部住民との交流・普及啓発につなげる。	773,000
	ウ 鳥獣被害予防・ シビエ認証取得推進事業	鳥獣被害の軽減を図るため、総合的な鳥獣被害対策を実施する「被害ゼロ集落」の育成、モンキーDOGの導入を支援した。	6,000,000
	未来へ「つなぐ！」農山漁村 (ふるさと)元気づくり事業	地域リーダーの育成、住民によるビジョンの策定からその実現までの支援、協働活動における関係人口の拡大、各団体間の情報共有の場の創出と情報発信を行うことにより、地域が持つ「魅力」や「価値」のさらなる向上を図る。	5,075,000
	エ (うち) 徳島県ふるさと水と土 指導員活動支援事業	ふるさと水と土指導員が棚田地域等において企画・実践する環境保全活動、交流活動等を推進し、土地改良施設や農地等の保全及び農村地域の活性化の推進に資する。	(700,000)
	オ (うち) あわの農山漁村(ふるさと) 魅力創生事業	中山間地域において「ビジョン」の策定から早期実現を「パッケージ」として支援し、地域の魅力向上や住民の課題解決力の向上を図る。	(2,400,000)
	カ (うち) とくしま農山漁村(ふるさと) 応援し隊事業	地域に社会貢献したいという志を持つ都市部の大学・企業・NPOと協働パートナー協定を結び、農山漁村地域の要請に応じて応援活動を展開する。	(1,735,000)
	キ (うち) とくしま農山漁村(ふるさと) ネットワーク事業	県内の棚田保全活動団体等と県及び市町村により、「棚田ネットワーク」を設立し、各団体間の連携と情報共有を図るとともに、各地の魅力や活動状況を発信する。	(240,000)
	ク 啓発推進事業	中山間地域の多面的機能を地域住民及び県民に周知し、保全対策の必要性をPRする。	430,000
合 計			16,185,000

2 中山間ふるさと・水と土保全推進事業

事業区分	事業名	事業内容	予算額
(1)保全ネット ワーク推進 事業			(円) 5,942,000
	棚田地域等保全対策事業費	棚田地域への理解促進を図る。	477,000
	未来へ「つなぐ！」農山漁村(ふるさと) 元気づくり事業	上記と同様。	5,465,000
	(うち) とくしま農山漁村(ふるさと) 応援し隊事業	上記と同様。	(4,695,000)
	(うち) とくしま農山漁村(ふるさと) ネットワーク事業	上記と同様。	(770,000)
(2)保全活動 推進事業			7,100,000
	未来へ「つなぐ！」農山漁村(ふるさと) 元気づくり事業	上記と同様。	7,100,000
	(うち) ふるさと水と土指導員活動 支援事業	上記と同様。	(800,000)
	(うち) あわの農山漁村(ふるさと) 魅力創生事業	上記と同様。	(6,300,000)
合 計			13,042,000

1 中山間ふるさと・水と土保全対策事業

(1) 調査研究事業

ア 中山間むらづくり調査事業

本県の中山間地域は、本県の農業の重要な地位を占めている。しかしながら、耕作者の高齢化や後継者不足により、農業生産基盤の整備が実施されていない地域では、農作業効率が悪く離農による耕作放棄地の増加が懸念されている。中山間地域の優良農地を保全し継承するためにも、効率的な営農を可能とする農業生産基盤整備が急務であり、この計画検討に向けた調査を行った。

また、中山間地域では、農地・里山・水路等の多様な自然が存在し、身近な動植物、田園空間が残されている。これらの豊かな環境を次世代に継承するためにも、環境との調和に配慮した農業農村整備が求められている。このことから、田園環境の保全に資するため必要な環境調査を行った。



調査計画



調査計画



環境調査

◆調査結果及び今後の取組

	調査名	調査結果	今後の取組方針
	地区名		
調査計画	八幡 (阿南市)	現地踏査等により、優良農地の保全・農作業の効率化を図る区画整理事業の計画検討を実施した。	本調査での検討結果を活用し、中山間地域における農業の活性化及び優良農地の保全を考慮した事業計画書の作成に努める。
環境調査	黒地 (阿南市、小松島市)	地区内の環境調査を行い、環境に配慮した工法検討を行った。	本調査で得られた知見を事業実施段階において、適切に実践することで、環境に配慮した土地改良事業の展開に努める。

◆次年度の調査計画

	調査名	調査内容
	地区名	
環境調査	八幡 (阿南市)	農業生産条件に不利のある中山間地域において、生産基盤整備を行い、中山間地域の活性化や農業振興を目的とした事業計画策定に必要な環境調査を実施する。
環境調査	江野島 (阿南市)	農業生産条件に不利のある中山間地域において、生産基盤整備を行い、中山間地域の活性化や農業振興を目的とした事業計画策定に必要な環境調査を実施する。
調査計画	江野島 (阿南市)	農業生産条件に不利のある中山間地域において、優良農地を保全し、農作業の効率化を図る事業計画策定に必要な諸調査を実施する。

(2) 研修事業

ア ふるさと水と土指導員全国研修会派遣

例年、ふるさと水と土指導員として任命予定者を、ふるさと水と土基金全国研修に派遣しているが、昨年度に引き続き今年度も新型コロナウイルスの影響により、研修会が中止となった。
今年度任命予定者については、来年度以降参加予定。



指導員全国研修への参加

イ ふるさと水と土指導員県内研修会

日時：令和4年3月22日（火）
 場所：徳島市内
 内容
 (1) 指導員活動事例発表
 (2) 意見交換
 など



ふるさと水と土指導員研修会

(3) 推進事業

ア ふるさと水と土保全懇話会

毎年1回開催し、保全対策の内容を評価し、広く県民に周知する。

日時：令和4年3月23日（水）
 場所：徳島市 ホテル千秋閣



ふるさと水と土保全懇話会

イ 農林漁業体験推進事業

四国グリーン・ツーリズム推進協議会において、キャンペーン実施による農林漁業体験施設等のPRや四国4県をオンラインで繋ぎ研修会を実施した。

【取組内容】

- ①4県連携キャンペーン「思いっきり四国！88癒やしの旅。」
 期間：令和3年8月14日～令和4年1月10日
 内容：施設利用者が体験内容をInstagramに投稿するか、アンケートに答えて応募し、88名に特産品をプレゼント
 応募者数：464人
 主な来県者：兵庫県、岡山県、山口県、愛媛県、香川県など

- ②「四国4県グリーン・ツーリズム実践者交流研修会」の実施
 日時：令和3年11月16日
 場所：オンライン
 内容：実際に参加者の立場で体験しながら実施体制やツアーのポイント等、アフターコロナに向けたツーリズム事業の展開の参考とすることで、四国4県のグリーン・ツーリズム実践者のスキルアップを図る。

【今後の取組】

- ・思いっきり四国！88癒やしの旅。キャンペーン
- ・グリーン・ツーリズム実践者交流研修会



「四国4県グリーン・ツーリズム実践者交流研修会」



「思いっきり四国！88癒やしの旅。」応募写真

農林漁家民泊の登録状況（累計）

年度	登録実績（累計）
平成20年度	4戸（4戸）
平成21年度	2戸（6戸）
平成22年度	2戸（8戸）
平成23年度	7戸（15戸）
平成24年度	2戸（17戸）
平成25年度	13戸（30戸）
平成26年度	3戸（33戸）
平成27年度	4戸（37戸）
平成28年度	5戸（42戸）
平成29年度	9戸（51戸）
平成30年度	11戸（62戸）
令和元年度	5戸（67戸）
令和2年度	0戸（67戸）
令和3年度	0戸（67戸）



農家民泊の状況

ウ 鳥獣被害予防・ジビエ認証取得推進事業

鳥獣被害の軽減を図るため、総合的な鳥獣被害対策を実施する「被害ゼロ集落」の育成、モンキードッグの導入を支援した。

【取組内容】

- ①被害ゼロ集落の育成 3市町 6地区
 本事業で実施した主な地区
 - ・つるぎ町（貞光川見地区・半田日浦地区）
 雑穀栽培における鳥類の被害軽減対策
 - ・牟岐町（関地区）
 サル用大型捕獲檻による捕獲対策研修会
 - ・鳴門市（北灘町粟田地区）
 サル用大型捕獲檻による捕獲対策研修会
 - ②モンキードッグの導入支援
 1頭導入（那賀町 1頭）
 これまでの実績（県内累計32頭導入うち3頭死亡）
 H24年度1頭 H25年度6頭 H26年度5頭
 H27年度5頭 H28年度6頭 H29年度3頭
 H30年度2頭 R1年度3頭 R2年度1頭
 R3年度2頭
- 【令和4年度の取り組み】
- ・「鳥獣被害ゼロ集落」のモデル育成
 - ・モンキードッグの導入支援
 - ・鳥獣被害対策強化月間における対策の実施



サル捕獲対策研修会
 (被害ゼロ集落の育成)



サル追い払い活動研修会
 (被害ゼロ集落の育成)



犬の訓練
 (モンキードッグの導入支援)

野生鳥獣による農作物被害の推移

年度	被害状況（面積：金額）	
	面積	金額
平成21年度	78.2ha	102,351千円
平成22年度	102.4ha	155,905千円
平成23年度	78.4ha	128,733千円
平成24年度	84.3ha	131,880千円
平成25年度	70.6ha	119,112千円
平成26年度	71.0ha	113,451千円
平成27年度	75.6ha	122,663千円
平成28年度	64.6ha	112,598千円
平成29年度	62.9ha	111,484千円
平成30年度	46.7ha	103,206千円
令和元年度	51.2ha	94,446千円
令和2年度	56.7ha	91,024千円

エ ふるさと水と土指導員活動支援事業

(未来へ「つなぐ!」農山漁村(ふるさと)元気づくり事業)

ふるさと水と土指導員が土地改良施設や農地の保全活動・農村地域の活性化を図るための交流行事等を実施した場合、その要した経費について10万円を上限に補助金として交付した。

事業実施期間 令和3年5月21日から令和4年3月末

市町村名	地区名	事業内容
吉野川市	美郷	荒廃農地を回避し景観美化を図り、人々の心の癒やしを得るため、美郷でのイベントに加え、年間を通じて「花(菜の花、れんげの花、アーモンドの花、高開の芝桜など)で応援」のキャッチフレーズで活動を行う。
	美郷	耕作放棄地を減らし、自然保護、地元ボランティアと地域外の方との交流を深めるため、農作放棄された土地を借り受け、花で町を活性化する。
	美郷	各地域で丁寧に育てられた花を形や記憶に残すことや周知を目的に、耕作放棄地の活用とドライフラワーを用いたワークショップを行う。
美馬市	脇町	景観植物等による耕作放棄地や棚田を活用し、都市部との交流推進の取り組みを通じたイベントを実施し、地域の魅力発信の場とする。
三好市	池田町	耕作放棄棚田を地域住民と地域外生活者の応援により再生し、ワサビやフキ・古代もち米(青米)・マコモを栽培し、地域特産品の開発や農林業体験ができる場所をつくる。
勝浦町	坂本	小水力発電の勉強会を開催するとともに、賛同者を増やす広報活動を行う。
神山町	神領	農地や景観、文化を次世代に継承することを目的に、環境保全活動や、地元の子供や大人、都会の子供・大人がともに楽しむ田舎遊び体験教室(カブトムシ採取、子供・大人の川遊び)を開催する。(新型コロナウイルスの影響により中止)
那賀町	延野	農業推進や地域の魅力発信、多世代交流など様々な面から地域の活性化に取り組むため、花畑を作る。また、エディブルフラワーを使ったクッキングワークショップを開催する。
	横石	耕作放棄地の草刈りなどの農地の保全活動を行うとともに、景観作物(れんげ等)を作付けるなど、地域の活性化につなげる。
	延野	休耕地を体験観光の場として生かす。SNSを通じ、休耕地の実態や生かし方の発信や、交流を行う。(新型コロナウイルスの影響により中止)
	平谷	森林の機能は水源涵養や自然保護、土砂崩壊の防止に多くの役割を担っていることから、都市住民と地域が連携、協働して間伐や枝打ちを実施する活動を行い、地域の活性化、林業活性化を図る。(新型コロナウイルスの影響により中止)
牟岐町	灘	田園風景を残すため、田にコスモスやれんげを植栽し、地域の憩いの場所とする。
美波町	木岐	地域内外住民との農業体験交流の場(かかしコンテスト)創設のためサツマイモを栽培するとともに、休耕田に、交流・ふれあいの場の創設として景観植物を植栽し、地域の景観保全と活性化に取り組む。また、今後の活動の参考とするため、先進地視察等を行う。(新型コロナウイルスの影響により、事業の一部を中止)
つるぎ町	一宇	町内の地域住民が中心となり、しゃくなげ・つつじ・あじさいを植えることにより、環境を整備し地域の景観の活性化につなげる。

**オ あわの農山漁村(ふるさと)魅力創生事業
(未来へ「つなぐ!」農山漁村(ふるさと)元気づくり事業)**

農山漁村地域の魅力向上や住民主体の課題解決力の向上を目的とした「魅力向上・地方創生のモデル」づくりを行うため、地域住民による「魅力創生ビジョン」の作成から早期実現までを「パッケージ」として支援する。

【取り組み内容】

○農山漁村の活性化に取り組もうとする地域へ、外部講師等の専門員を派遣し、住民主体の「ワークショップ」(体験型講座)を開催し、住民の実行計画である「魅力創生ビジョン」を作成する予定であったが、新型コロナウイルスの影響により昨年度に引き続き次年度へ延期となった。

【令和4年度の実施予定地区】

- 県央 上勝町(椋原地区)
- 県南 牟岐町(内妻地区)
- 県西 三好市(有瀬地区)



ワークショップ風景



阿南市加茂谷区「散策マップ作成、講演会開催」



三好市旧佐馬地区「キノコ、木炭、もち米の商品開発」

【棚田の保全・活用の取組支援】

県内の棚田地域について、棚田の保全・活用の取組を公募し、支援を行った。

- 「棚田保全活用タイプ」評価委員会
日 時：令和3年6月10日(木)
場 所：県庁6階601会議室

棚田名	実施事業名
吉野川市美郷「高開の石積み」	「にほんの里100選「高開石積み」保全と活用」
上勝町「八重地の棚田」	「にほんの里100選「八重地の棚田」における茅葺き民家を拠点とした棚田保全活用事業」
上勝町「八重地・市宇・田野々・椋原・野尻・府殿の棚田」	「上勝町棚田人・電子聞き書きプロジェクト」
上勝町「椋原の棚田」	「棚田の活動デビュー創出プロジェクト」

カ とくしま農山漁村(ふるさと)応援し隊事業 (未来へ「つなぐ!」農山漁村(ふるさと) 元気づくり事業)

社会貢献に積極的な「企業・大学・NPO法人等」協働パートナーの協力を得て、農作業や地域コミュニティ活動など、農山漁村地域の保全・活性化を図った。

現在、78団体と「協働パートナー協定」をしている。

【農山漁村(ふるさと)協働パートナー協定締結式】

日時 令和3年12月20日(月)
場所 県庁3階 特別応接室
内容 協働パートナー協定締結(4団体)
感謝状の贈呈(2団体)

＜新規協働パートナー団体＞

H22: 8団体 H23:10団体 H24:11団体 H25:10団体
H26: 7団体 H27: 6団体 H28:4団体 H29:7団体
H30: 5団体 R1 : 3団体 R2 : 3団体 R3:4団体
※協定締結78団体(うち6団体現在未継続)

【R3年度活動実績】(令和4年2月末時点)

- 活動日数 12日間
- 活動した農山漁村 5地域
- 主な活動内容
 - ・石積みの保全活動
 - ・地域イベント支援
 - ・ユズ、ハッサクの収穫
 - ・地域の景観保全活動

【とくしま農山漁村(ふるさと)応援し隊研修会】

日時: 令和4年3月22日(火)
場所: 徳島市内
内容 (1)事例発表(ふるさと団体・協働パートナー)
(2)基調講演
(3)意見交換 など

【とくしま農山漁村(ふるさと)応援し隊事業 協働活動調整・活性化業務】

公募型プロポーザルにより委託業者を選定し、協働活動実施に係る調整業務を委託するとともに、協働活動をより魅力的なものへ磨き上げることで、地域のファンになり、協働活動に積極的に参加する仕組みづくりに取り組んだ。

- ・委託業者 株式会社あわわ
- ・協働活動活性化業務
 - NPO法人美郷宝さがし探検隊(吉野川市)
 - 馬路地域ふるさと保全協働活動推進協議会(三好市)
 - 花の里グループ協議会(美馬市)



協働パートナー協定締結式及び感謝状贈呈式(県庁)



草刈り作業
(勝浦郡坂本)



八朔収穫作業
(美馬市穴吹町)



ひな人形の受取・整理作業



ひな祭りイベント準備作業
(勝浦郡坂本)



石積みの保全活動
(吉野川市美郷)



きのこ植菌作業
(三好市池田町)



集落道の整備作業
(美馬市脇町)

キ とくしま農山漁村(ふるさと)ネットワーク事業 (未来へ「つなぐ!」農山漁村(ふるさと)元気づくり事業)

①とくしま棚田ネットワーク

県内の棚田保全活動団体等と県及び市町村により、「棚田ネットワーク」を令和3年2月設立し、各団体間の連携と情報共有を図るとともに、各地の魅力や棚田ネットワーク構成団体の活動情報を一元的に情報発信することとしている。

会 員：県、関係市町村、中国四国農政局徳島県拠点、
徳島県土地改良事業団体連合会、
徳島県農業会議、棚田保全に係る団体、NPO法人、
徳島県ふるさと水と土指導員、学識経験者

②とくしまの農山漁村ホームページ

農山漁村地域への支援事業や、とくしま棚田ネットワーク構成団体の活動内容を情報発信する。

③中山間地域魅力発見フォトコンテスト

中山間地域の魅力ある写真を通じて、ふるさと徳島を広くPRするため、第15回となる「とくしまの中山間地域魅力発見フォトコンテスト」を開催した。

43点の応募の中から10点の優秀賞を選定し、今後、各種パンフレットやホームページで紹介、また、県庁すだちくんテラスでの写真展示やビジネスチャレンジメッセ等で広くPRを図っていく。

④徳島発!輝くむらのたから展開事業

県内各地の特徴ある豊かな「農林水産業」や、それにまつわる伝統的な「食」、「景観」、「伝統行事」などの「むらのたから」を活用した農山漁村の体験交流や観光の促進に取り組む地域をH30、R1年度にかけて9地域認定した。

【認定地域】

- ・内野地域（東みよし町）
- ・善入寺島地域（吉野川市）
- ・上勝地域（上勝町）
- ・有瀬地域（三好市西祖谷山村）
- ・和田島地域（小松島市）
- ・湊名地域（美馬市穴吹町）
- ・美郷地域（吉野川市）
- ・木頭地域（那賀町）
- ・上板地域（上板町）

R2年度までに9地域のVRプロモーション映像を作成しており、Youtubeにて公開中。R3年度は、「徳島ビジネスチャレンジメッセ」や首都圏での展示商談会等でVRゴーグルとパンフレットを配布し、約900名がVR体験を行った。



棚田ネットワーク



フォトコンテスト応募作品



有瀬地域



上板地域



和田島地域

2 中山間ふるさと・水と土保全推進事業

(1) 保全ネットワーク推進事業

ア 棚田地域等保全対策事業

中山間地域の魅力ある写真を通じて、ふるさと徳島を広くPRするため、第15回となる「とくしまの中山間地域魅力発見フォトコンテスト」を開催した。43点の応募の中から10点の優秀賞を選定し、各種パンフレットやホームページで紹介、また、県庁すだちくんテラスでの写真展示やビジネスチャレンジメッセで広くPRを図った。



イ とくしま農山漁村(ふるさと)応援し隊事業 (未来へ「つなぐ!」農山漁村(ふるさと)元気づくり事業)

1の(3)の力のとおり。

ウ とくしま農山漁村(ふるさと)ネットワーク事業 (未来へ「つなぐ!」農山漁村(ふるさと)元気づくり事業)

1の(3)のキのとおり。

(2) 保全活動推進事業

ア ふるさと水と土指導員活動支援事業 (未来へ「つなぐ!」農山漁村(ふるさと)元気づくり事業)

1の(3)の工のとおり。

イ あわの農山漁村(ふるさと)魅力創生事業 (未来へ「つなぐ!」農山漁村(ふるさと)元気づくり事業)

1の(3)のオのとおり。

3 令和4年度の事業計画について

令和4年度計画（案）

1 中山間ふるさと・水と土保全対策事業

事業区分	事業名	予算額(案)
(1)調査研究 事業費		(円) 3,000,000
	中山間むらづくり調査事業	3,000,000
(2)研修事業		770,000
	ふるさと水と土指導員全国研修派遣	335,000
	ふるさと水と土指導員県内研修	435,000
(3)推進事業		12,415,000
	ふるさと水と土保全対策懇話会	137,000
	農林漁業体験推進事業	773,000
	鳥獣被害予防推進事業	6,000,000
	未来へ「つなぐ！」あわの農山漁村(ふるさと)元気づくり事業	5,075,000
	（うち）ふるさと水と土指導員活動支援事業	(700,000)
	（うち）あわの農山漁村(ふるさと)魅力創生事業	(2,400,000)
	（うち）とくしま農山漁村(ふるさと)応援し隊事業	(1,735,000)
	（うち）とくしま農山漁村(ふるさと)ネットワーク事業	(240,000)
啓発推進事業	430,000	
合 計		16,185,000

2 中山間ふるさと・水と土保全推進事業

事業区分	事業名	予算額(案)
(1)保全ネット ワーク推進 事業		(円) 4,172,000
	棚田地域等保全対策事業	477,000
	未来へ「つなぐ！」あわの農山漁村(ふるさと)元気づくり事業	3,695,000
	（うち）とくしま農山漁村(ふるさと)応援し隊事業	(3,165,000)
	（うち）とくしま農山漁村(ふるさと)ネットワーク事業	(530,000)
(2)保全活動 推進事業		7,100,000
	未来へ「つなぐ！」あわの農山漁村(ふるさと)元気づくり事業	7,100,000
	（うち）ふるさと水と土指導員活動支援事業	(800,000)
	（うち）あわの農山漁村(ふるさと)魅力創生事業	(6,300,000)
合 計		11,272,000